

明治三十三年一月

兵站勤務令

參謀本部 第二部
(共五拾部ノ内)

0534

兵站勤務令

第一篇 兵站統轄部

第一章 兵站總監

第一 兵站總監ハ參謀總長ノ指揮ニ從ヒ通常大本營ニ在テ
左ノ事務ヲ統轄ス

- 一 兵站事務
- 二 運輸通信事務
- 三 野戰監督事務
- 四 野戰衛生事務

此各事務ニハ各特別ナル機關(第二章)ヲ有シ各機關ニ部
長ヲ置キ皆兵站總監ニ隸屬シ各自分擔ノ區域内ニ於テ

0535

其條規ニ準據シ事務ヲ實施シ其責ニ任セシム

第二 兵站及運輸通信事務ニ關スル諸官衙及之ニ屬スル軍隊ハ勿論凡テ作戰軍及占領地總督部ニ屬スル監督部衛生部及郵便部モ亦當該司令部等ヨリ受タル指示及其命令ニ衝突セサル限リハ兵站總監ノ指揮ヲ遵奉スヘキモノトス

第三 兵站總監ハ部下ノ各事務部ヲシテ各自ノ職務ヲ整理シ且協力一致ヲ旨トシ其事務ヲ行ハシムルノ責任ヲ有ス又事務ニ關シ戰地外ニ在ル諸官衙(陸海軍省、遞信省等)及同上團隊(留守師團司令部、憲兵司令部等)トノ連繫ハ兵站總監若クハ各事務長官ニ依テ保持セララル、モノトス

第二章 兵站總監ニ隸屬スル諸部長

0536

第四 第一章ニ掲ケタル各事務ヲ統理スル爲メ兵站總監ニ
隸屬スル諸部長左ノ如シ

一 兵站監 軍或ハ獨立師團(要スルハ獨立團隊)ノ兵站
事務ヲ統理ス

二 運輸通信長官 凡テ鐵道、船舶、車馬等ヲ以テスル運
輸及電信、郵便ノ事務ヲ統理ス

三 野戰監督長官 戰地ニ於ケル會計、經理事務ヲ統理
ス

四 野戰衛生長官 戰地ニ於ケル衛生事務ヲ統理ス

第三章 兵總監部附職員

第五 參謀ハ兵站總監ヲ輔佐シ高級參謀ハ内外ノ庶務ヲ處

0537

理シ且總監部内諸員ノ業務ヲ監督ス

又參謀佐(尉)官ハ陣中日誌ノ調製ヲ擔任ス

第六 砲兵佐官ハ高級參謀ノ指揮ニ從ヒ兵器彈藥ノ事ヲ掌
リ且ツ總監部ノ内庶務ニ服ス

第七 副官ハ高級參謀ノ指揮ニ從ヒ總監部内ノ庶務ヲ擔任
ス副官中工兵科尉官ハ兼テ工兵器具材料ノ事ヲ掌ル

第四章 運輸通信長官

第八 運輸通信長官ハ兵站總監ニ隸屬シ運輸及通信ノ事務
ヲ統理シ以テ軍ノ作戰ニ關シ直接ノ協同動作ニ參與シ且兵
站業務ノ實行ヲ完全ナラシムルニ在リ

第九 運輸通信長官ハ鐵道ニ就テハ左ノ甲乙二部電信若ク

0538

ハ郵便ニ就テハ丙丁二部ヲ統理ス

甲 線區司令部 一定ノ鐵道區域若クハ綿路毎ニ之ヲ

置キ各區各域線路内ノ軍事輸送ヲ掌ル

乙 停車場司令部 主要點ノ停車場ニ置キ線區司令部

ニ屬ス

丙 野戰高等電信長 野戰電信事務ヲ掌ル

丁 野戰高等郵便長 野戰郵便事務ヲ掌ル

以上ノ諸部ハ全軍又ハ其一部ニ動員或ハ戒嚴ノ令下ル時ヲ以テ需要ニ應シテ之ヲ編成ス

第十 運輸通信長官ハ動員發令ノ時ヲ以テ其業務ヲ始メ兵站總監ノ指揮ニ從ヒ先ツ豫メ計畫セシ充員人馬ノ輸送ヲ實

0539

送業務確定迄未定
ノ項ハ海上輸

行シ次ニ各隊ヲ集中スル爲メノ輸送及之ニ就テ生スル軍需品ノ輸送次ニ戰略上ノ輸送ト戰地ニ追送スル軍需品ノ輸送トノ方法ヲ規畫シ其實行ヲ指揮監督ス

右輸送業務中鐵道輸送ニ關スル方法及實行ハ鐵道線區司令官或ハ野戰鐵道提理ヲシテ又船舶輸送ニ關スル方法及實行ハ船舶輸送司令官ヲシテ之ヲ擔任セシムルモノトス

運輸通信長官ハ陸上ト海上トノ輸送業務ヲシテ彼是相連關セシメ以テ澁滞ナク實行スルコトニ注意スベシ

第十一 戰時未タ運輸通信長官ノ任命アラサル間及平時其業務ノ準備計畫ハ參謀本部第四部之ヲ擔任ス

第五章 運輸通信長官部參謀及副官

0540

第十二 參謀ハ運輸通信長官ヲ輔佐シ長官部ニ關スル内外ノ事務ヲ整理スルヲ任トシ且部内ノ業務ヲ監督ス

第十三 副官ハ參謀ノ指揮監督ニ屬シ長官部内庶務ノ整理並陣中日誌ノ調製ニ任ス

第六章 鐵道船舶運輸委員

第十四 鐵道船舶運輸委員ハ運輸通信長官ニ隸屬シ各専門ノ事項ニ就キ諮詢ニ應シ責任ヲ盡シ以テ長官ヲ輔佐スルモノトス

第十五 委員中海軍參謀佐官ハ海軍々令部各鎮守府及諸汽船會社ト又鐵道事務官若クハ技師ハ鐵道局及諸鐵道會社ト常ニ連絡ヲ保チ互ニ通報シ其狀況ヲ明カニスヘシ

第十六 凡テ輸送ニ關シ鐵道ト船舶トノ供用ヲ接續スル場合ニ於テハ委員互ニ協議シテ最モ便利適當ノ方法ヲ起案スヘシ

第七章 野戰高等電信長

第十七 野戰高等電信長ハ運輸通信長官ニ隸屬シ總テ戰地ニ於ケル電信事務ヲ統理シ野戰及兵站ノ兩電信ヲ連絡シ並之ヲ國用電信ニ連絡セシメ此諸電信ヲシテ協力一致ニ活動セシメ各地相互ノ情况ヲ明カニシ以テ軍ノ統御ヲ容易ナラシムルヲ任トス

第十八 野戰高等電信長ハ軍若クハ師團ニ附屬セル野戰電信隊ノ業務ニ關シテハ軍若クハ師團司令部ヲ經テ之ニ關涉

0542

スルニ過キス然レモ大本營ニ屬スル電信隊アルキハ之ヲ直
管ス

又占領地總督部所管ノ地域ニアル電信業務ヲ監督ス

第十九 野戰高等電信長ハ遞信省ト連絡シ各野戰電信隊及
兵站電信部ヨリ報告スル所ノ電線ノ新設及線路ノ變換並電
信局(通信所ヲ含有ス)ノ位置ニ就キ常ニ電信連絡一覽圖ヲ訂
正シ之ヲ印刷シテ各高等司令部ニ頒布スルモノトス

第二十 野戰軍所在ノ地區ニ在テ電信連絡ヲ設クル爲メニ
ハ野戰電信隊ヲ以テ之ニ充ツ而シテ其材料ハ速カニ兵站電
信部ノモノヲ以テ補充シ其人員モ亦兵站電信部ノ者ヲ以テ
代ラシメ野戰電信隊ヲシテ前進ノ爲メ支障ナカラシムモノ

此條未定

トス之カ爲メ要スレハ野戰高等電信長ハ兵站電信部長ニ命
令ヲ下スヘシ何トナレハ電線使用時間ノ長短又兵站電信ニ
緊急任務ノ有無ハ唯中央部ニ於テノミ察知シ得ヘケレハナ
リ

第二十一 野戰高等電信長ハ各作戰軍ニ屬スル兵站電信部
長ノ管轄スル電信網ノ境界ヲ規定ス

第二十二 野戰高等電信長ハ凡テ必要ニ際シ吏員ノ派遣及
材料ノ調達等ハ運輸通信長ヲ經テ遞信省ヘ請求スヘシ

第八章 野戰高等郵便長

第二十三 野戰高等郵便長ハ運輸通信長官ニ隸屬シ凡テ野
戰郵便事務ヲ統理シ野戰郵便ト國用郵便トノ連絡ヲ規定シ

0544

且之ヲ維持スルヲ任トス但郵便輸送ノ鐵道船舶ニ關係スル
事件ニ就テハ鐵道船舶輸送委員ト協議シ之ヲ運輸通信長官
ト遞信省トニ具申ス
野戰高等郵便長ハ兼テ大本營ノ郵便事務ヲ掌ルモノトス
第二十四 野戰高等郵便長並其隸屬官衙軍若クハ師團ノ郵
便部長及野戰郵便局ハ凡テ郵便業務即野戰郵便物ノ收受、分
配及遞送ノ規定並郵便爲換金及其決算法ニ關シテハ必ス遞
信省ノ指示ヲ遵守スヘキモノトス
第二十五 野戰高等郵便長ハ若シ作戰軍ノ編成上ニ野戰郵
便事務ニ影響スヘキ變更アルモハ運輸通信長官ノ許可ヲ經
タル後速ニ之ヲ遞信省ニ報告スヘシ

0545

第九章 野戰監督長官

第廿六 野戰監督長官ハ兵站總監ニ隸屬シ凡テ戰地ニ於ケル會計經理事務ヲ統理ス

此長官ハ其經理方法ヲ統理スルニ關シ軍師團、兵站及占領地總督部ノ各監督部長ノ爲メニ統一ノ中心點トナルモノナリ一軍若クハ一師團隔離シタル戰場ニ在テ獨立作戰スル場合ニ際シ野戰監督長トノ連絡ヲ失ヒタルキハ軍若クハ師團ノ監督部長ハ會計經理事務ニ關シ此長官ノ職權ヲ施行ス

第廿七 野戰監督長官ハ通常師團ノ内部經濟上ニ關涉セサルモノトス此長官ノ首タル任務ハ兵站總監ヨリ豫期ノ作戰

0546

ニ關シ與ヘラレタル指示ニ從ヒ之ニ要スル經理方法ヲ處理
シ且軍若クハ師團ノ監督部ニ軍隊需用品ノ調達方法ヲ區處
シ而シテ野戰諸經理部ヲシテ互ニ妨害且軋轢スルコトナク
協同一致シテ常ニ時機ヲ誤ラス軍隊ノ需用ヲ満足セシムヘ
キヲ監視スルニ在リ

第廿八 野戰監督長官ハ其任務ヲ實行スル爲メ鐵道ヲ使用
スルノ必要ヲ生シタルトキハ必ス運輸通信長官ト協議シテ
之ヲ處理スルモノトス

第廿九 該長官ノ職務ハ野戰監督部勤務令ニ據ル

第三十 戰時未ダ野戰監督長官ヲ任命セサル間及平時其事
務ノ準備計畫ハ陸軍省經理局之ヲ擔任ス

七

0547

第十章 野戦衛生長官

第三十一 野戦衛生長官ハ兵站總監ニ隸屬シ凡テ戰地ニ於ケル衛生事務ヲ統理ス

此長官其ハ勤務ヲ確實ニ施行スル爲メ絶エス陸軍省ト交通シ其規畫スル事項ヲ知悉シ又必要ノ件ヲ同省ニ請求スヘシ

第三十二 野戦衛生長官ハ兵站總監ヨリ命令及通知ヲ受ケ兵站官衙及運輸通信官衙ト連絡シテ左ノ件々ヲ整理スルモノトス

一 患者ノ輸送(爲シ得レハ列車若クハ船舶ヲ用ヒ)及其分配

0548

二 作戰ノ經過ニ因テ生スル野戰衛生事務ヲ豫メ準備

スルヲ

〔此長官ノ各衛生部長ニ於ケル關係ハ凡テ野戰監督長官ノ各監督部長ニ於ケル〕第十章第二項ト同一ナリトス

第三十三 野戰衛生長官ハ陸軍大臣ノ指示ニ從ヒ赤十字社ヨリ派遣スル救護員ヲ使用シテ戰時衛生事務ヲ補助セシム故ニ理事首長ニ必要ナル命令ヲ與フルノ權ヲ有ス

第三十四 戰時未タ野戰衛生長官ヲ任命セサル間及平時其事務ノ準備計畫ハ陸軍省醫務局之ヲ擔任ス

第二篇 兵站一般ノ要領

第十一章 兵站部ノ任務

八

0549

第三十五 兵站ハ師管ト作戰軍背後トノ連絡ヲ保持スルモ
ノニシテ其任務ハ左ノ如シ

一 野戰軍ノ作戰力ヲ常ニ保持スルニ必要ナル人馬及
物品ヲ背後ヨリ輸送スルヲ

二 凡テ野戰軍ヨリ後方ニ送還スル人馬物品例之ハ患
者、俘虜、破損或ハ剩餘ノ兵器、被服及裝具并敵ヨリ得
タル兵器材料等ヲ輸送スルヲ

三 野戰軍ニ往復スル人馬ノ兵站部管区内ニ在ル間ハ
之ヲ宿泊セシメ之ニ給養シ患者及病馬ニ療養ヲ與
フルヲ

四 兵站部ノ管区内ニ於テ連絡線ヲ保持シ且確實ナラ

0550

シメンカ爲メ陸路、水路、橋梁、鐵道、電信線及郵便線路ヲ保護シ修繕若クハ新設シ守備兵ヲ所要ノ地點ニ配布シテ連絡線ヲ防禦シ或ハ兵站路上及其管區内ノ警察事務ヲ掌ル

五 領略シタル敵地ニ別ニ行政主任ノ官廳ヲ置レサル間ハ其地ノ管理法ヲ設ケ其行政ヲ爲ス

第十二章 兵站線路及兵站管區

第三十六 兵站線路ハ軍或ハ師團等ノ所在地ヨリ當該師管ニ至ル迄ニ延長シ且成ルヘク鐵道及船舶ニ賴ルモノトス
第三十七 軍或ハ獨立師團等ノ爲メニ用ユヘキ兵站線路及其側方ノ管區ハ要スレハ大本營之ヲ指示ス又軍司令部ニ在

ヲモ要スレハ其所屬各師團ニ同上ノ指示ヲ爲ス

第三十八 兵站線路ハ其位置ニ依リ野戰軍ノ作戰ニ直接影響ヲ及ホスト否ラサルトニ依リ所管ヲ異ニス其區分左ノ如シ

一 作戰ノ影響スル部分 此部分ハ兵站監部ノ直接管

區ニシテ大本營ヨリ特別ニ區域ヲ定メサルキハ作戰軍ノ所在地ヨリ其作戰ノ影響ノ及フヘキ師管ノ後方境界ニ至ル

外征ニ在テハ其所在地ヨリ背後我軍ノ上陸地若クハ占領地總督所轄地トノ境界ニ至ル

二 作戰ノ影響地外ノ部分 此部分ハ當該師管ノ師團

552

長若クハ占領地總督ノ所轄ニ屬ス

與國內ヲ通スル兵站線路ニシテ此部分アルトキハ

大本營ニ於テ臨時其所管ヲ定ム

兵站線路中海上ニ亘ル部分アルトキハ大本營ニ於テ特ニ示
定セサレハ運輸通信部ノ所管トス

第十三章 兵站線路ノ主要點(基地、集積場

及兵站主地)

第三十九 軍事ノ交通ヲ簡便ナラシムル爲メ野戰軍ト師管
トノ間ニ於テ兵站基地ト兵站主地トヲ定ム

第四十 凡テ輸送物件ノ蒐集及發送ニ便ナル停車場若クハ
碇泊場等ヲ以テ基地ト爲シ爰ニ物件ヲ蒐集シ成ル可ク結合

十

0553

セル車船ヲ以テ輸送シ之ヲ其目的地ノ近傍適宜ノ停車場若クハ碇泊場等即チ主地ニ到着セシメ此ニ於テ之ヲ各地ニ分配スルヲ要ス其野戰軍ヨリ師管ニ送還スル時ハ此基地主地ノ動作ヲ倒用スルモノトス

第四十一 野戰軍ニ致スヘキ物件ヲ各兵站基地ヨリ一ノ兵站主地ニ輸送スル時同時ニ輻湊堆積ノ混乱ヲ豫防シ需用品ノ緩急ヲ較量センカ爲メ基地ト主地トノ間ニ於テ集積場ヲ置キ一旦此處ニ物件ヲ集合セシメ作戰軍ニ於テ生スル時々ノ需要ニ應ジ鐵道若クハ船舶等ヲ以テ之ヲ兵站主地ニ送達スヘシ此集積場ハ戰地ヨリ甚タ遠カラサル所ニ設ケ各種ノ豫備品ヲ整備シ在ルヲ要ス

0554

第三篇 兵站事務

第十四章 業務ノ開始 兵站監部ト當該作戰

軍司令部トノ關係

第四十二 兵站監ハ成ルヘク速ニ其業務ノ準備ニ着手シ而シテ作戰軍司令官其部下軍隊ニ對シ作戰上ノ指揮ヲ執ルニ至レハ兵站監部モ亦直ニ其兵站業務ヲ開始スルモノトス

第四十三 軍ヲ編成スルトキハ其軍ニ屬スヘキ各師團ニ於テ動員セシ兵站部員及兵站輜重附表第 號參照)並ニ特ニ配屬セラレタル職員等ハ軍ノ集合地區内ニ於テ參謀總長ヨリ定メラレタル場所ニ集合シ此所ニ於テ兵站監ノ命令下ニ屬シ軍兵站部ト爲ルモノトス

0555

第四十四 各師團ニ於テ動員セシ兵站部員ニシテ兵站監部ノ編成上剩餘員アルトキハ兵站部ノ豫備員トシテ兵站監ニ隸屬シ以テ其使用ニ供スルモノトス

第四十五 兵站監部ヲシテ負擔スル任務ヲ完全ニ實施セシムル爲メ作戰軍司令部ハ其諸團隊ノ進退ト使用トニ關シ絶エズ之ニ通報スルヲ必要トス

又兵站監部ニ於テハ勉メテ自ラ當該作戰軍司令部ト連絡ヲ保チ且常ニ其諸團隊ノ情況ヲ辨知スルヲ要ス故ニ其位置ハ狀況ノ許ス限り成ルヘク當該作戰司令部ニ近接シテ撰定スヘシ

第十五章 兵站業務ニ關シ諸官衙等相互間ニ

0556

於ケル位置ノ通報

第四十六 兵站主地ノ位置ヲ決定シ若クハ變換シタル時ハ兵站監ハ之ヲ當該作戰軍司令部、兵站總監部、陸軍省、作戰軍ニ關連セル留守師團司令部、比隣ノ兵站監部ニ通知シ且兵站線路、陸地兵站路ノ最終點并兵站監部ノ位置モ亦時々上ノ諸官衙ニ通報ス可シ其他軍若クハ師團司令部ニハ兵站病院及兵站馬廠ノ位置ヲ通報シ各團隊ヲシテ其位置ヲ成ル可ク速ニ知ラシメンコトニ注意スヘシ

第四十七 野戰軍ノ各司令部モ亦物件ノ輸送ヲシテ紛雜ナカラシムル爲メ其位置ヲ兵站監部ニ通知スヘシ

第四十八 一地ニ長ク滯留セシムルノ目的ヲ以テ守備兵ヲ

0557

配置セシキハ兵站監部ヨリ作戰軍司令官、兵站總監及附近ノ
團隊ニ通報スヘシ

第十六章 兵站管區ノ警備

第四十九 兵站監ハ所屬ノ軍隊ヲ適當ニ使用シ管區内ニア
ル軍用ノ諸建築物、鐵道、郵便、電信及水陸ノ各連絡線ヲ警備シ
且緊要ナル諸點ニ工事ヲ施シ以テ防禦力ヲ鞏固ニシ軍隊ヲ
節用スル丁ニ注意スルモノトス

第五十 兵站監ハ右工事ヲ施スヘキ地點ヲ撰定シ之ヲ實行
スルニ際シテハ所屬ノ工兵隊ヲ使用シ尙ホ之ヲ要スレハ地
方官吏ニ照會シテ役夫ヲ使用ス

第五十一 兵站管區ヲ警戒スル爲メニ最も緊要ナルハ信任

0558

スヘキ確實ナル報告ヲ得ルニ在リ故ニ兵站監ハ其管區内各部ノ吏員ニ命シ一定ノ時刻ヲ以テ報告ヲ爲サシムルヲ要ス

第五十二 停車(碓泊)場司令官ヨリ枝隊ノ派遣ヲ請求スルトキハ兵站監ハ之ヲ停車(碓泊)場衛兵ト爲シ該司令官ノ使用ニ供スヘシ但鐵道線路又ハ停車(碓泊)場ニ來襲セル敵ヲ防禦スルニ關シテハ枝隊長其指揮ヲ掌ルモノトス

第五十三 兵站監ハ本章第四十九ニ掲ケタル連絡線ヲ警備スル爲メ斥候ヲ派遣シ及緊要ナル諸點ニ守備兵ヲ配置ス此斥候及守備兵ハ兵站監ヨリ受ケタル任務ニ支障ナキ限りハ附近ニ在ル兵站司令部及通信機關等ノ要求ニ應スヘキモノトス

0559

鐵道線路ヲ警備スル騎兵斥候ハ該線路ニ沿フテ巡候スヘキ
モノニシテ特別ナル命令アルニ非サレハ線路上ヲ騎行スル
ヲ許サス

第五十四 守備兵及斥候勤務ニ懈怠ナカラシメンニハ嚴密
ナル監視ヲ必要トス久シク同一ノ場所ニ於テ警備勤務ニ從
事セシムルヲ要スル時殊ニ然リトス若シ怠惰ノ所爲アルト
キハ之ヲ嚴罰セサル可ラス

第五十五 敵國ニ於テ兵站連絡線上ニ故意ヲ以テ毀損ヲ生
セシメタルモノアルトキハ附近ノ人民ヲシテ其責ニ任セシ
ムルモノトス故ニ兵站監ハ豫メ之ヲ其地方ニ公告セシムヘ
シ

0560

第五十六 兵站管區ノ警備ヲ爲スニ時トシテ一大枝隊ヲシテ絶エス巡回セシムルヲアリ此巡回警備ハ兵力ヲ數個ニ分割シ各兵站地ニ小ナル守備兵ヲ配置スルヨリ容易ニシテ且其兵力モ些少ニシテ足レリトスルヲアリ

兵站監若シ某兵站地ニ防禦準備ヲ必要ト認ムルトキハ特ニ其方法ヲ指示シ又敵襲ノ虞アル兵站地へ豫備彈藥ヲ送附スルヲニ注意スヘシ

第五十七 作戰軍前進シ爲メニ兵站線路伸長シ其兵站地及連絡線ニ末々守備兵ヲ得サル間ハ作戰軍自ラ一部隊ヲ派遣スルカ或ハ病後ノ休養兵ヲ以テ一枝隊ヲ編成シ之カ警備ニ充ツ可キモノトス

0561

第五十八 兵站監部直接管區外ニアル兵站地及兵站線路ヲ
警備スルハ其所管留守師團司令部或ハ占領地總督部ノ任務
トス

第十七章 兵站馬廠

第五十九 兵站監ハ需用ニ應シテ病馬ノ爲メ兵站管區内ニ
兵站馬廠ヲ設置ス其員數及位置ハ其必要ノ狀況ニ從フモノ
トス

第六十 兵站馬廠ニ要スル人員中獸醫蹄鐵工(下)長及下士ハ
兵站監部或ハ兵站司令部附ノ者ヨリ兼勤セシムルカ若クハ兵
站部ノ豫備員ヲ以テ之ニ充テ其他ノ者及材料ハ可成地方ニ於
テ雇役シ以テ速ニ病馬ニ屬セシ馬卒ト交代セシム可シ然レモ

0562

以上ノ方法ニ依ルモ此人員及材料ヲ充足シ能ハサルトキハ
兵站監ヨリ作戰軍司令官ニ請求シ而テ之ヲ作戰軍ニ關連ス
ル補充隊ヨリ出サシムルモノトス

第六十一 軍隊ニ豫備馬ノ數夥多ニシテ師團ノ馬廠ニ充滿
スルトキハ團隊長ノ請求ニ依リ健馬ヲモ一時此廠ニ置クコ
トヲ得

第六十二 馬廠ノ管轄及給養ハ其地ニ在ル兵站司令部ノ掌
ル所トス其他馬廠ニ關スル詳細ナル規定ハ野戰獸醫部勤務
令ニ依ル

第十八章 兵站監本部

其一 總則

0563

第六十三 兵站監本部ノ業務ハ其參謀長之ヲ主管シ自ラ其責ニ任シ兵站監ノ意圖ニ適合セシムルモノトス

兵站監ノ其參謀長ニ對スルハ師團長ノ其參謀長ニ對スルト同一ニシテ兵站監ハ參謀長ニ常務ヲ委任シテ之ヲ擔任セシムルヲ得、兵站監本部ノ事務取扱方法ハ概テ師團幕僚ニ於ケルト同一ニ施行スルモノトス

第六十四 兵站監ハ作戰軍司令官ノ許可ヲ得テ機密費ノ前渡金ヲ受クルモノトス

第六十五 兵站監本部ニハ所屬隊ヨリ衛兵及傳令勤務ニ要スル歩兵及騎兵卒若干ヲ備フ可シ

其二 兵站監

0564

第六十六 兵站監ハ作戰軍司令官ニ隸屬シ其兵站業務ヲ流
理シ又兵站總監ヨリ下ス一般訓令ヲ遵守シ其管區内ノ事務
ニ關スルコトハ自己ノ責任ヲ以テ其職務ヲ盡シ陸路兵站地
ヲ確定シ道路及ヒ河川ノ運輸方法ヲ整理シ并鐵道及鐵道輸
送ヲ保護スルモノトス

第六十七 兵站監ハ凡テ軍若クハ師團ニ於テ生スル各需要
品ヲ充足シ將來生スヘキ需要ヲ豫察シテ之ヲ準備シ野戰軍
ノ背後ヲ護衛シ其所要ノ物品ヲ遲滞ナク送達シ又野戰軍ヨ
リ還送スル物品ヲ受領シ管區内ヲ往來スル人馬ノ宿泊給養
患者ノ療養等ヲ任務トス又兵站ノ目的ヲ達スル爲メ必要ナ
ル連絡線ヲ嚴正ニ維持スルコトニ注意シ且軍人常人ノ別ナク

作戰軍ノ背後ニ於テ非違不法ノ行爲ナカラシムルヲ要ス
第六十八 兵站監ハ其配屬セラレタル諸部及軍隊并ニ軍人
軍屬ヲ獨斷ヲ以テ使用スヘシ又要スレハ其屬セラレタル將
校中高級故參ノ者ヲシテ若干ノ兵站司令部又ハ所屬管區ノ
一部ヲ特別ニ管轄セシムルヲ得且時宜ニ依リ當該作戰軍
司令官ニ請求シ豫メ兵站勤務ニ使用スヘキ將校及軍屬ノ候
補ヲ置キ將來須要ノ人員ニ缺乏ヲ告ケシメサルヲニ注意ス
ヘシ此ノ如キ候補者ハ未タ其勤務ヲ始メサル前ヨリ之ヲ戰
地ニ召集シ勤務ヲ熟知セシムルヲ可トス又勤務上不用ト爲
リ或ハ勤務ニ堪ヘサル職員アルトキハ作戰軍司令官ニ具申
シ其處置ヲ請フヘシ

0566

第六十九 兵站監ハ兵站管區内ヲ通行スル軍隊、軍人、軍屬ヲ
兵站勤務ニ使用スル爲メ留止スルヲ得ズ然レモ緊急已ムヲ
得サルノ狀況ニ際シテハ自己ノ責任ヲ以テ一時之ヲ使用ス
ルコトヲ得然ルトキハ速ニ之ヲ作戰軍司令官ニ報告スヘシ
但軍隊ノ指揮官、兵站監ヨリ高級故參ナルトキハ之ニ刻下ノ
狀況ヲ申告シ以テ其援助ヲ乞フヘシ然ルトキ之ニ應スヘキ
ヤ否ヤハ該指揮官自己ノ責任ヲ以テ決斷スルモノトス
第七十 兵站監ハ兵站各部ノ業務及其實行ノ果シテ目的ニ
適スルヤ否ヤヲ確知スル爲メ常ニ自ラ巡回シテ兵站線路上
ニ在ル所轄諸部ヲ監視スヘシ或ハ之カ爲メ參謀長(師團兵站部
ニ在テハ高
級副官以下)若クハ他ノ將校ヲシテ屢、巡視セシムヘシ

0567

第七十一 兵站監他出スル時ハ參謀長ハ其本部ニ留リ事務ヲ統理スヘシ兵站監ト參謀長ト決シテ同時ニ他出スヘカラス

第七十二 兵站監ハ其部下將校及同相當官准士官並高等文官ノ人事ニ就テハ作戰軍司令官ニ申請シ爾餘ノ人事ハ自ラ之ヲ處理任免スルモノトス

兵站監ハ又其部下タル軍隊及軍人軍屬ノ風紀軍紀ヲ統監シ且軍法會議ヲ管轄ス

其三 參謀及副官

第七十三 兵站參謀長ハ兵站監ヲ輔佐シ内外ノ庶務ヲ整理スルヲ任トシ且本部諸員ノ業務ヲ監督ス

0568

第七十四 參謀ノ掌ルヘキ首要ナル任務左ノ如シ

兵站線路ノ設置計畫、兵站管區ノ警備、通信事務、兵站輜重及兵站守備隊ノ使用、作戰軍ノ戰鬪序列及其諸隊ノ位置、軍隊及俘虜ノ輸送、諜報、陣中日誌、兵站業務ニ關スル命令

第七十五 副官ハ兵站監部ノ庶務ヲ擔任ス其主要ナル任務左ノ如シ

戰時名簿及馬匹名簿ノ保管、軍人軍屬ノ人事、請願及賞罰、人馬及物品ノ補充、兵器彈藥及材料ニ關スル事項、定期諸報告、死傷表、文書ノ往復、鹵獲罪人ニ關スル事務、給養及宿營、馬廠及馬匹ニ關スル事務、新聞記者ノ

0569

監視、衛兵及傳令騎兵ニ關スル事項、

以上ハ事務分擔ノ概略ヲ示スモノニシテ其他ノ細項ニ至テハ參謀長適宜之ヲ處置分課スヘシ

副官中高級古參ノ者ヲ高級副官トス同官ハ參謀長ノ指揮ニ從ヒ副官ノ擔任スヘキ庶務ヲ主管シ且本部附部員ノ事務ヲ監督ス

第七十六 獨立師團ノ兵站監ハ右ニ揚クル規定ニ準シ本部員ニ其事務ヲ適宜配當スヘシ

其四 軍吏

第七十七 軍吏ハ兵站監ニ隸屬シ高級副官ノ監視ヲ受ケ兵站監部ニ係ル金錢ノ收支計算記簿及給養一般ノ事ヲ掌ル但

0570

經理事務ニ關シテハ兵站監督部長ノ監督ヲ受クルモノトス
第七十八 軍吏ハ凡テ兵站監部ニ係ル俸給及糧食其他ノ諸
費凡ソ一ヶ月分ノ概額ヲ積算シテ支拂請求書ヲ製シ概算受
領證書ヲ添ヘ兵站監ノ檢印ヲ受ケ當該監督部ニ請求シ前渡
金ヲ受領シ兵站監ノ定ムル管守法ニ依リ之ヲ保管シ自カラ
其責ニ任ス

其五 兵站憲兵長

第七十九 兵站憲兵長ハ兵站監ニ隸屬シ兵站憲兵ノ事務ヲ
掌リ各兵站司令部ニ配附スヘキ憲兵ヲ指定シ且自餘憲兵ノ
勤務ヲ規定ス
總テ憲兵ノ任務ハ野外要務令ニ據ル